

不動産投資を検討している人に聞いた！

【民泊投資に対する富裕層の見解を調査】
富裕層の**64.5%**が、今後民泊ニーズは
「増加する」と予想！

富裕層の民泊投資需要に関する意識調査

Research Outline

調査概要

調査機関

株式会社LDKプロジェクト

調査名称

富裕層の民泊投資需要に関する意識調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による
インターネット調査

調査期間

2024年7月10日～同年7月11日

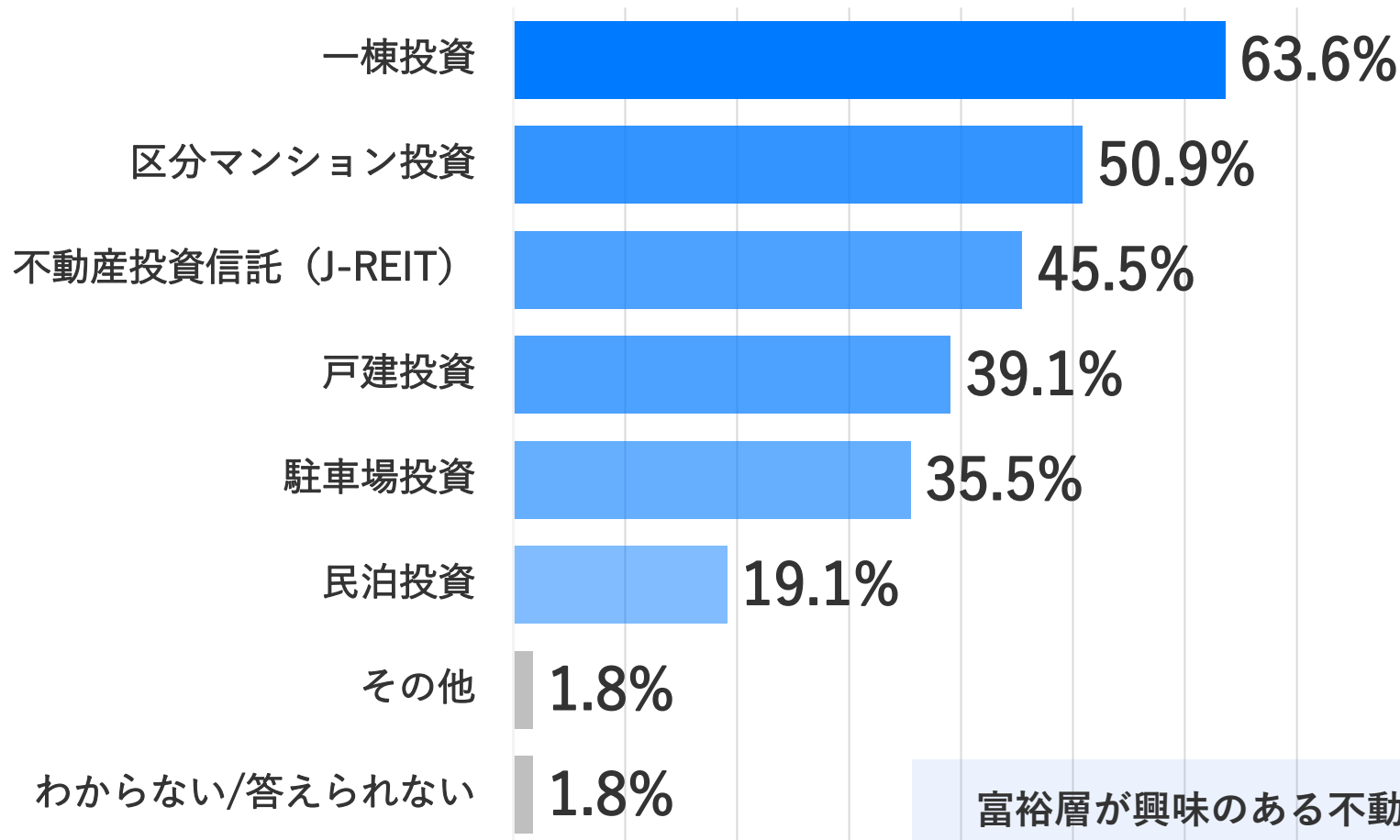
有効回答

不動産投資を検討している、総資産1億円以上の男女110名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1

あなたは現在、どのような不動産投資に興味がありますか。
(複数回答)

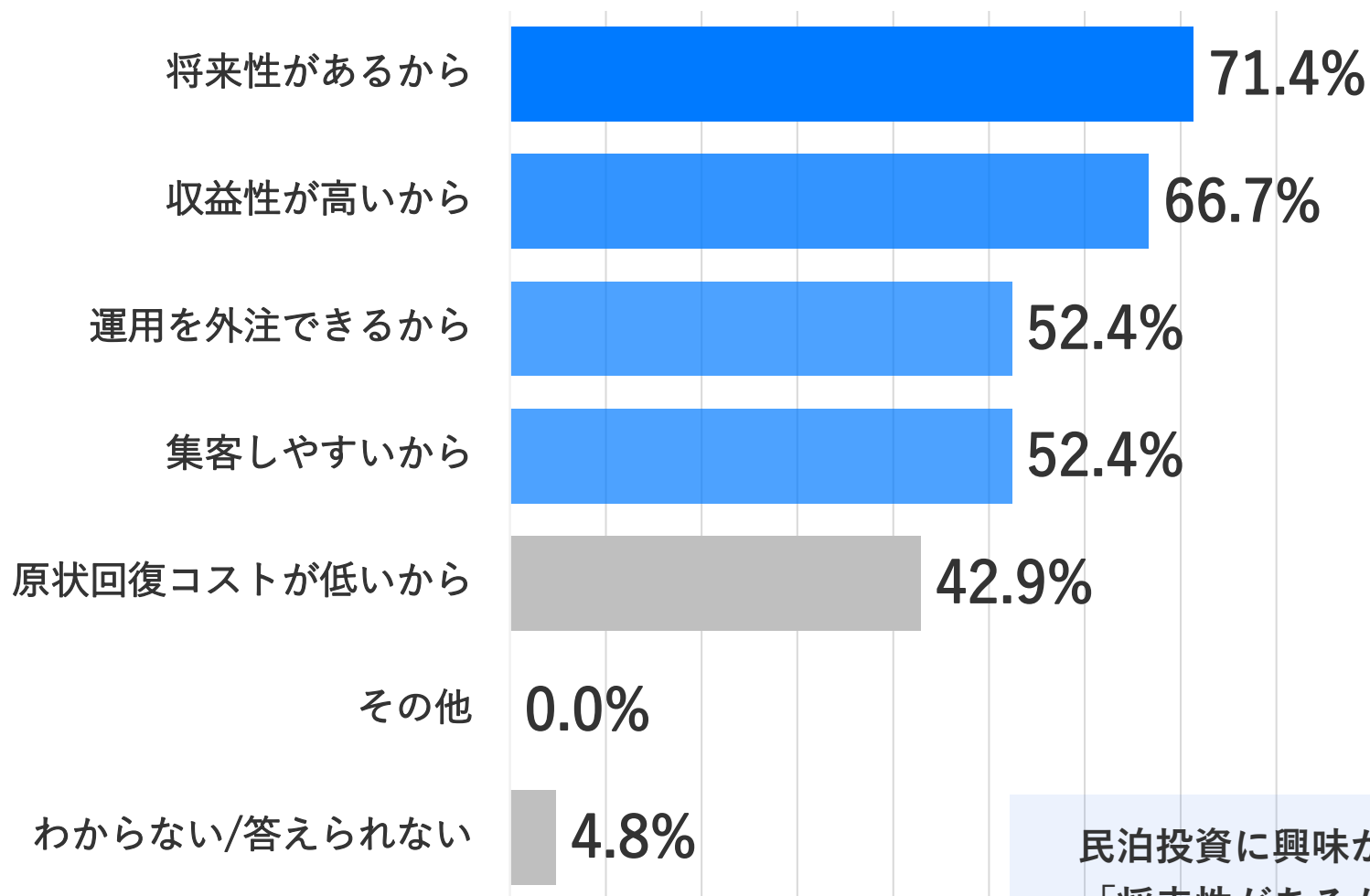


富裕層が興味のある不動産投資、
「一棟投資」が63.6%で最多、
一方で、19.1%が「民泊投資」にも
興味があると回答しました。

Q2

※Q1で「民泊投資」と回答した方に質問

民泊投資に興味がある理由を教えてください。（複数回答）



民泊投資に興味がある理由、
「将来性があるから」
「収益性が高いから」が
上位に挙がりました。

※ Q2で「わからない/答えられない」以外を回答した方に質問

Q3

Q2で回答した以外に、民泊投資に興味がある理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

45歳 コストパフォーマンスの良さを知りたい。

62歳 手頃に始められそうだから。

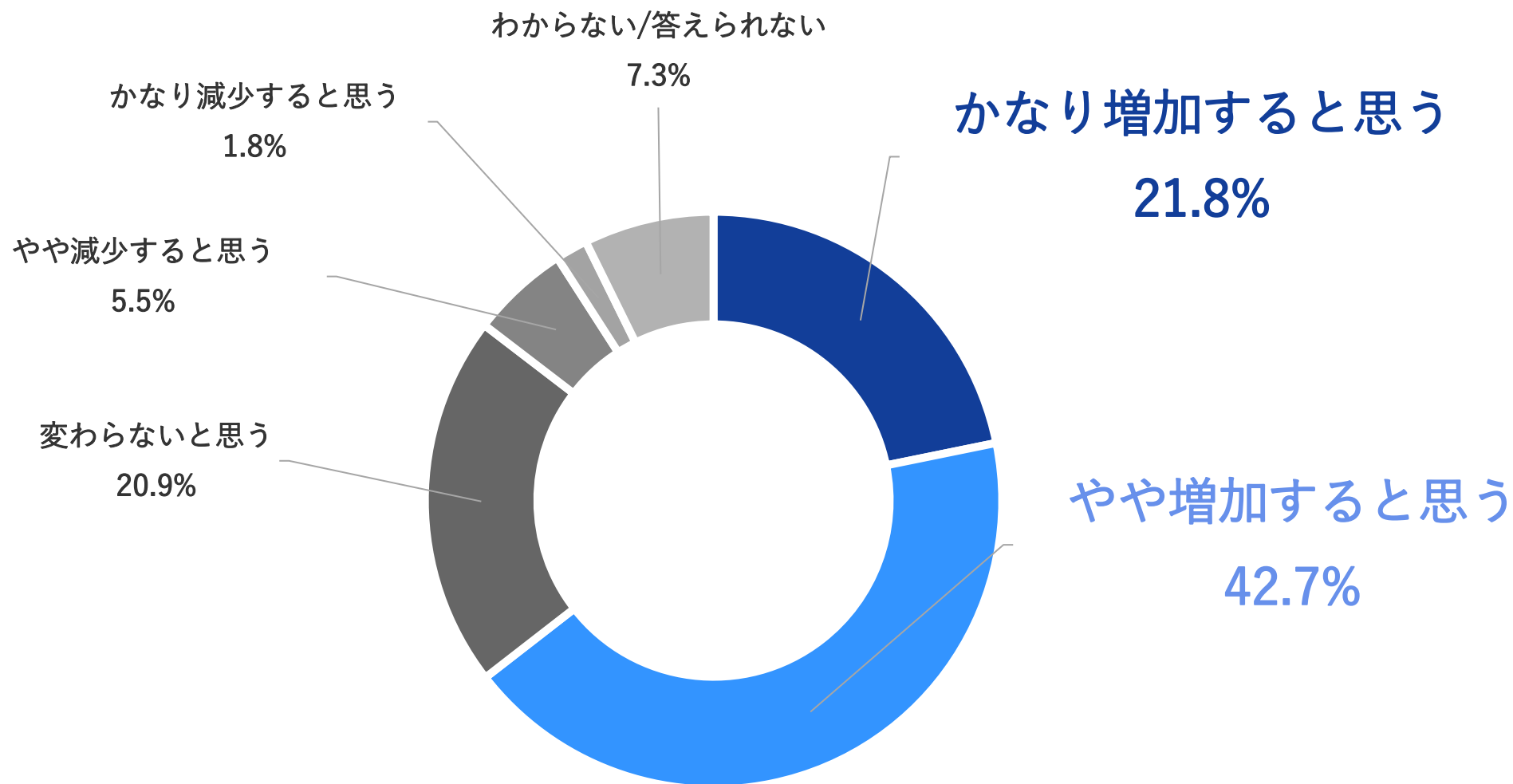
59歳 自分が空き家を持っているから。

56歳 楽しそうだから。

60歳 利回りがいい。

51歳 安く買える。

Q4 今後、民泊のニーズはどのように変化すると思いますか。

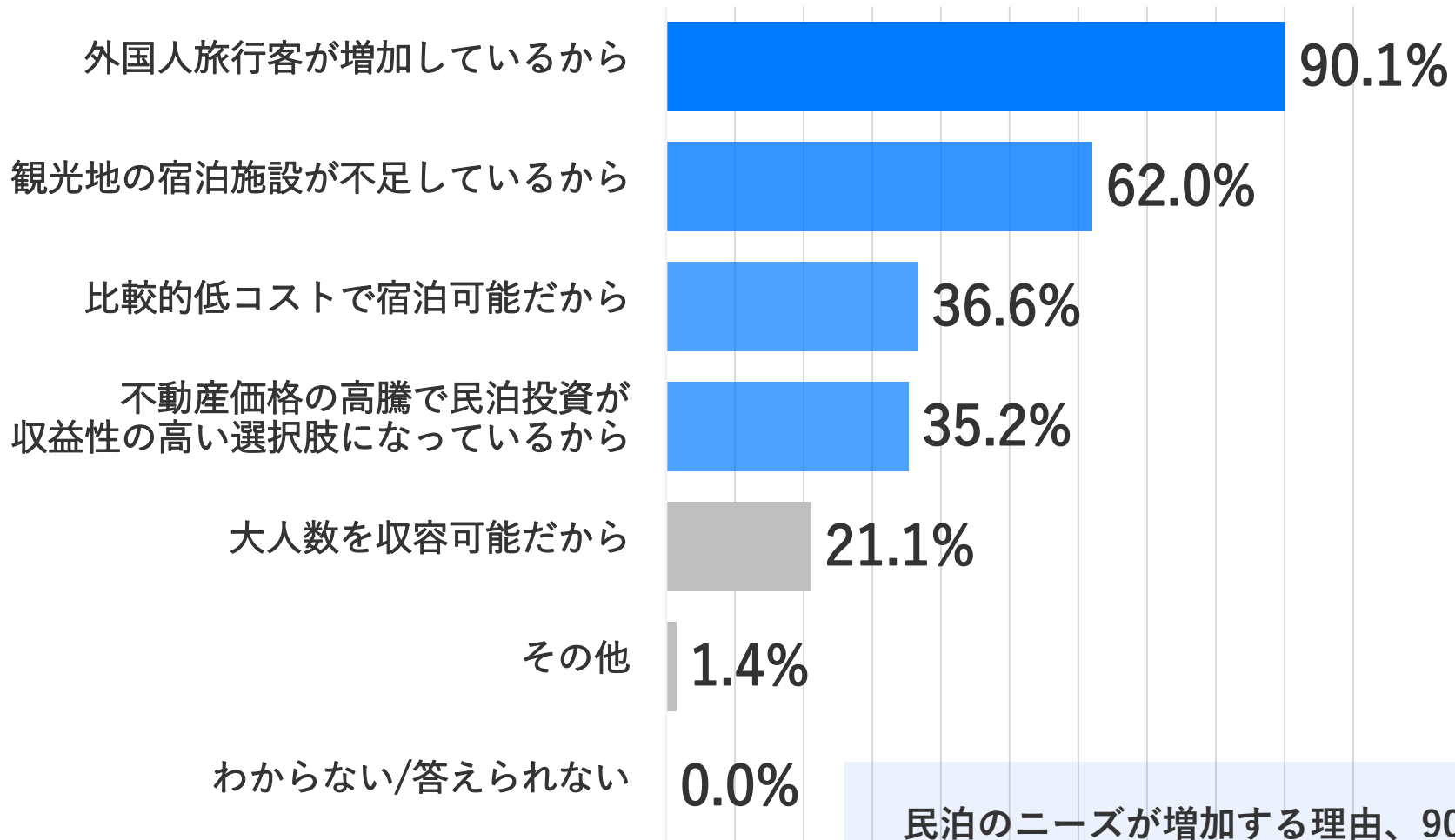


64.5%が、今後民泊ニーズは
「増加する」と予想しました。

Q5

※Q4で「かなり増加する」「やや増加する」と回答した方に質問

民泊のニーズが増加すると思う理由を教えてください。（複数回答）



民泊のニーズが増加する理由、90.1%が「外国人旅行客が増加しているから」と回答しました。

Q6

※ Q5で「わからない/答えられない」以外を回答した方に質問

Q5で回答した以外に、民泊のニーズが増加すると思う理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

55歳 ホテルの高騰。

63歳 ホテルの建設が需要に満たないから。

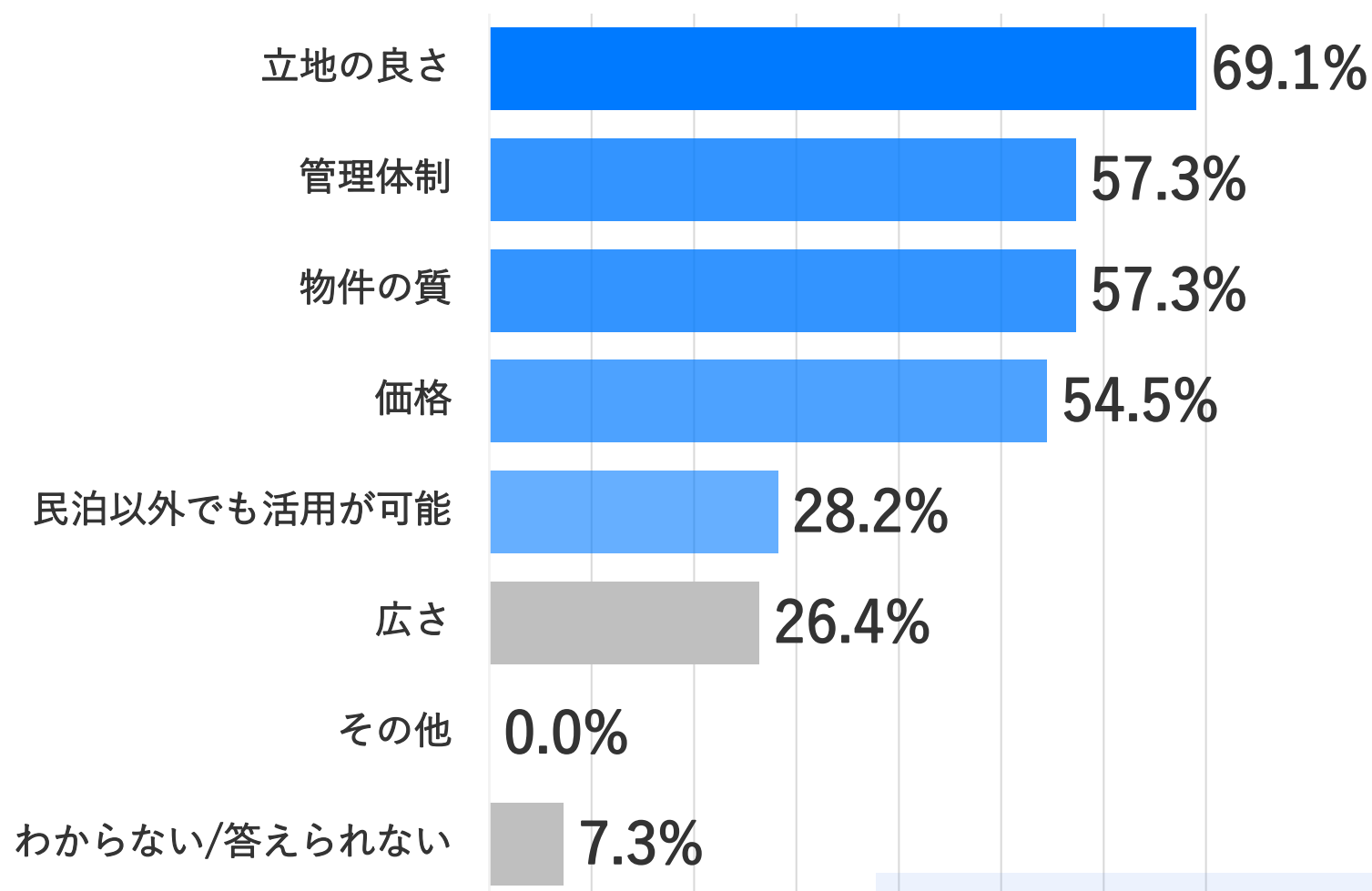
63歳 インバウンドのバックパッカーの増加。

70歳 空き家が増えているから。

37歳 自分ならではの過ごし方ができるから。

62歳 大勢で泊まれる所が少ない。

Q7 民泊投資において重要だと思う要素は何ですか。（複数回答）



民泊投資において重要な要素、「立地の良さ」「管理体制」「物件の質」などが挙げられました。

※Q7で「わからない/答えられない」以外を回答した方に質問

Q8 Q7で回答した以外に、民泊投資において重要だと思う要素があれば、自由に教えてください。（自由回答）

67歳 トラブル発生の対応。

60歳 清潔感。

61歳 宣伝広告など。

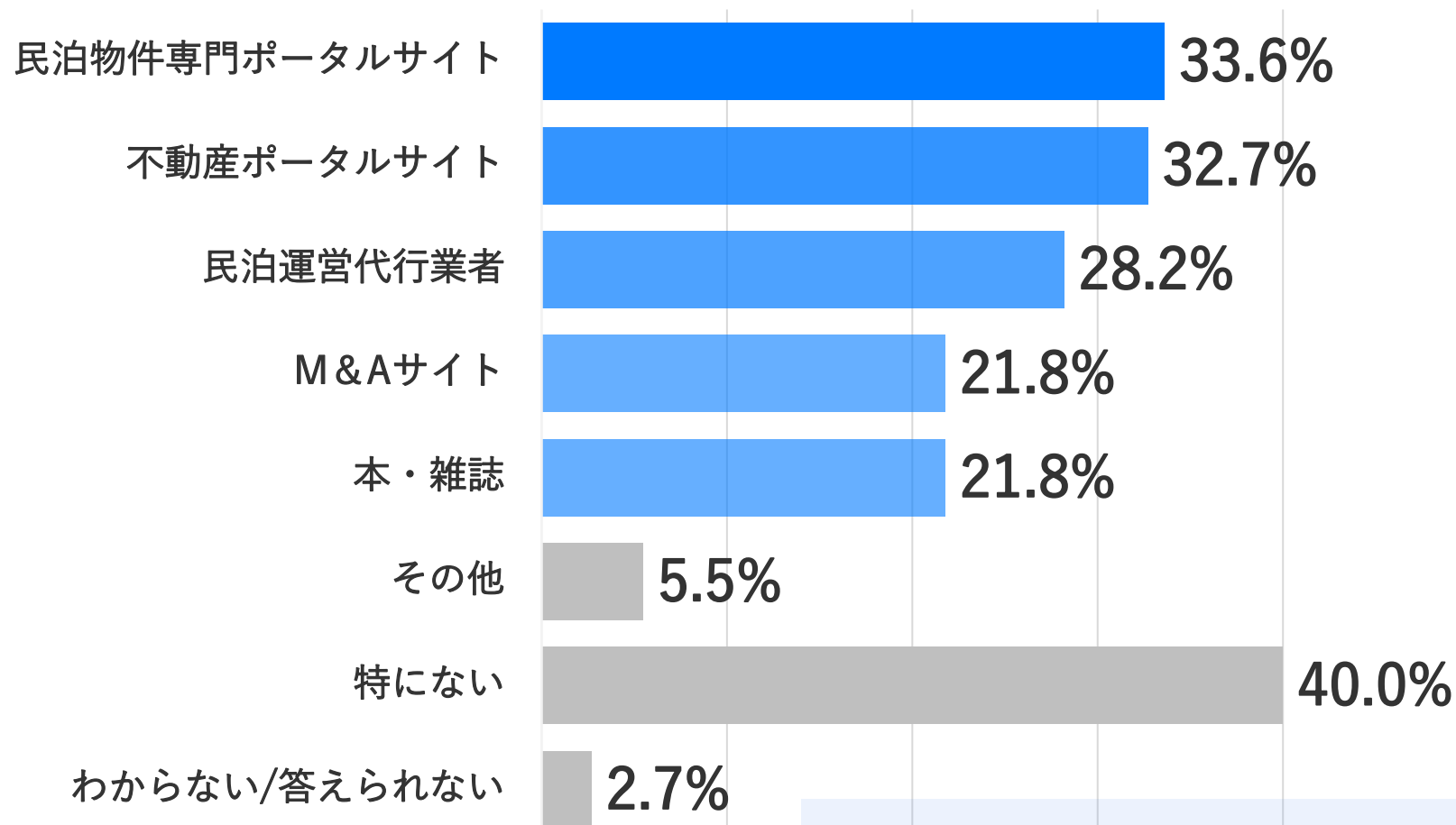
56歳 コスト管理。

55歳 管理規約で民泊自体が不可のマンションが圧倒的多数を占めるので、まず大前提として将来に渡り民泊の足枷となるようなリスクが少ない物件を限定する必要がある。

45歳 日本人ではなく、海外の方を対象にした物件を購入すれば、民泊投資に幅が出ると思う。

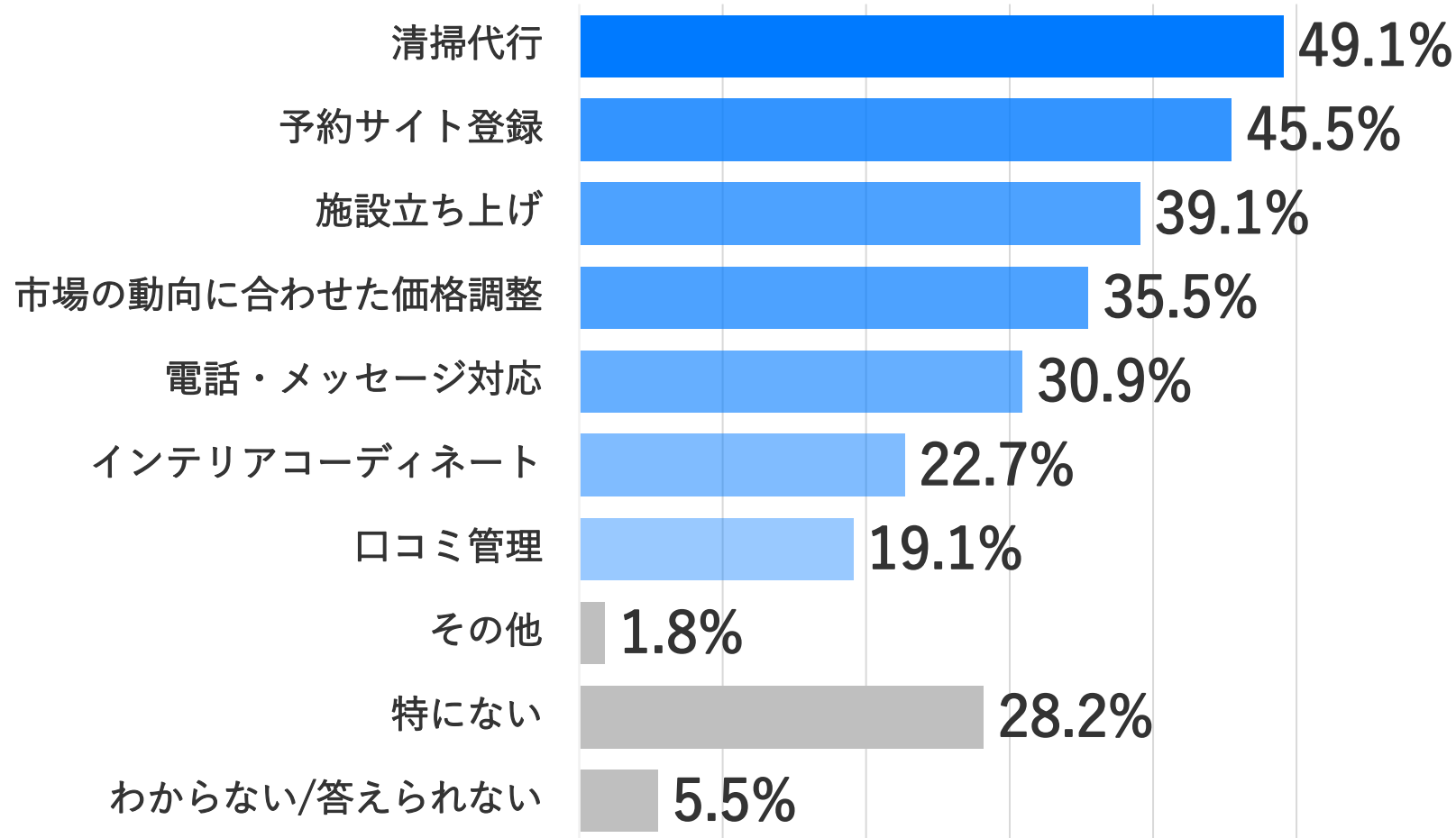
59歳 オペレーションの管理。

Q9 民泊物件に関する情報はどこで入手していますか。（複数回答）



3割以上が、「民泊物件専門ポータルサイト」「不動産ポータルサイト」を通じて民泊物件の情報を入手していることがわかりました。

Q10 民泊物件を選ぶ際に、どのようなサービスやサポートが欲しいですか。 (複数回答)



民泊物件の選定時に欲しいサービス、
第1位「清掃代行」の結果となりました。

Service

高単価・高稼働を実現する、 LDKプロジェクトの民泊運営代行サービス



訪日外国人観光客と日本人の国内旅行への関心の高さから、ホテル・旅館のみならず民泊施設の宿泊需要は増えています。LDKプロジェクトは2017年民泊事業に参入以降、「滞在先に選ばれる施設づくり」を第一に掲げ、高単価・高稼働を実現する強い民泊施設を数多くプロデュースしてきました。また、多くの民泊事業者が撤退に追い込まれたコロナ渦という超閑散期を乗り越えた実績があります。蓄積されたノウハウによって、高単価・高稼働を実現できる「ウケる民泊施設」の作り方を熟知しており、民泊収益改善のお手伝いをすることが可能です。

詳しくはこちら：<https://ldk-pjt.com/service/>

Contact

お問い合わせ

企業名

株式会社LDKプロジェクト

TEL

050-3612-7647

MAIL

marketing.div@ldk-pjt.com

WEB

<https://ldk-pjt.com/url/rspr>

会社住所

〒541-0051

大阪府大阪市中央区備後町

2丁目5-6-1409